

平成 30 年 6 月 12 日

報道関係者各位

情報学環と高知県における I o T 等の情報通信技術に係る
技術交流及び学術交流のための連携・協力にかかる協定の締結

国立大学法人 東京大学 大学院情報学環

このたび東京大学大学院情報学環（学環長：田中秀幸、以下、情報学環）は、高知県（知事：尾崎正直）との間で、I o T 技術をはじめとする情報通信技術（以下、I o T 技術）の教育研究の推進及び、高知県における産業振興や地域課題の解決を目的として、両者が緊密な連携・協力関係を構築することで合意し、これに係る協定書を平成 30 年 6 月 12 日に高知県庁内で締結しました。

情報学環では、田中学環長のもと、FII（Future Information Initiative、未来情報社会イニシアチブ）のコンセプトに基づき、21 世紀の世界における多様な社会課題の解決を目指した、学際融合型情報学の教育研究を実施しています。本協定は、その中でも特に、我が国における地域課題の解決、地方経済における産業振興に資することを目指しています。本協定書の締結により、両者が連携・協力して、情報学環における最先端の I o T 技術などの情報学の研究成果と、高知県における地域課題との間のマッチングを行い、地域課題の解決に資する研究を行う予定です。また、高知県内にある実際の地域課題に基づき、I o T 技術などの情報学に関して、大学院学生の教育研究活動を実施いたします。

今回の新たな提携は、情報学環と高知県との交流実績の上に行うものです。高知県では、平成 28 年 7 月に「高知県 I o T 推進ラボ研究会」を立ち上げ、官民協働で各産業の生産性向上や地域の課題解決を目指す取り組みを進めており、平成 29 年度より、越塚登教授が、I o T に関する技術上の具体的課題や知的財産上の具体的課題について助言を行う「I o T 推進アドバイザー」を務めています。平成 29 年度には、香美市（林業現場の課題解決）及び浦ノ内湾（漁業現場の課題解決）において、情報学環の卓越講義（担当：中尾彰宏教授、越塚登教授）の実習活動を実施しました。実習研究成果として、受講生が開発した、林業作業安全 IoT システム「RingRing」、漁場モニタリング IoT システム「SeeSea」が開発されました。平成 30 年 3 月より、地域課題を解決する情報学研究のため、高知県の産業界より、客員研究員 1 名を情報学環の客員研究員として受け入れ、共同研究を実施しています。

(補足)

FII (Future Information Initiative、未来情報社会イニシアチブ) :

我が国のデータ駆動社会への変革を大学駆動するためには、大きく変容する情報インフラを根源的に捉え直して、それに基づくイノベーションを促進し、コンピュータ科学やデザインなどから人文・社会科学に至るまで、情報に関連する諸領域が密接に融合する超学際融合 (transdisciplinary) の取組によって、将来構想を示し、実現することが必要です。東京大学大学院 情報学環・学際情報学府では、このような問題意識の下、情報インフラとイノベーションの促進を超学際融合的に進める、新たなイニシアティブ、FII (Future Information Initiative、未来情報社会イニシアチブ) を開始しました。

例えば、超高速大容量の次世代モバイル通信の 5G は、モバイル回線の用途を格段に広げ、社会活動を大きく変革することが見込まれています。また、FinTech で重要となっている Blockchain 技術は、スマートコントラクトや DAO (自律分散組織) を実現するなど、社会システムを根底から変える可能性があります。IoT などによる莫大なデータの利活用や、シェアリングエコノミーの浸透に伴う社会制度の再検討、新たな情報システムやサービスを使用する人々の行動変容などが様々な変化が期待され、新たな情報インフラは持続可能な社会に向けた社会変革を実現するチャンスをもたらします。FII では、こうした情報インフラとイノベーションの促進を通して、新しい未来社会の実現を目指した先端的な教育研究を行っていきます。

(コメント)

大学院情報学環・学際情報学府は、情報に関するさまざまな学問領域の融合を通じて教育研究を行う大学院です。2000 年の発足以来、学際融合のフロントランナーであり、環境変化に応じた進化を遂げてきました。今回の高知県との協定締結に対して、尾崎正直高知県知事、高知県商工労働部産業振興課 IoT 推進室の皆様、また高知県の産業界を始め多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本協定によって、情報学環のこれまでの教育研究成果をいかし、新しい未来社会の実現を高知県の皆様とご一緒できれば幸いです。

田中秀幸 情報学環長

これまで高知県とは、IoT や高度な情報通信技術を用いた、地域課題の解決に向けた活動とともにしてまいりました。その実績に基づき、こうして協定を締結することができて大変うれしく思います。これからますます、東京大学情報学環における情報学の研究成果での地域課題の解決、地域経済の活性化に資する活動に取り組んでいきたいと思ひます。

越塚登 副学環長